

防犯フィールドワークでのGIS活用

～場所に注目した防犯より～

北九州市立大学 防犯・防災プロジェクト【MATE's】
リーダー：近藤涼太

本資料は北九州市で行われた「G空間サミット2016」で“防犯フィールドワークでのGIS活用”と題し、北九州市立大学 防犯・防災プロジェクト【MATE's】が作成をし、報告を行ったPower Pointです。

この中には人物（特に児童、学生）の写った画像が多数、掲載されています。プライバシー保護の観点から画像の一部を加工しております。

また地図（紙地図、GIS）情報も多数掲載されています。その情報は学生が防犯教育活動を展開する際に役立てるため“場所に注目をした防犯”という切り口から一定の条件と照らし合わせ、詳細な記録をとっているものです。

しかしながら、記録した情報は第三者の悪用、地域住民への配慮という観点から積極的な一般公開に馴染まない性質を有すると考えます。よって一部画像の削除、加工を大幅に行っています。

どうぞご理解頂きますようお願い申し上げます。

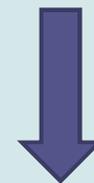
北九州市立大学 防犯・防災プロジェクト 【MATE's】

- 北九州市立大学
地域共生教育センター（421Lab.）
＞ 防犯・防災プロジェクト【MATE's】



MATE'sのテーマ

“安全・安心なまちづくり”



地域防犯活動

地域防災活動

1

地域安全マップづくり

2

ニセ電話詐欺啓発動画制作

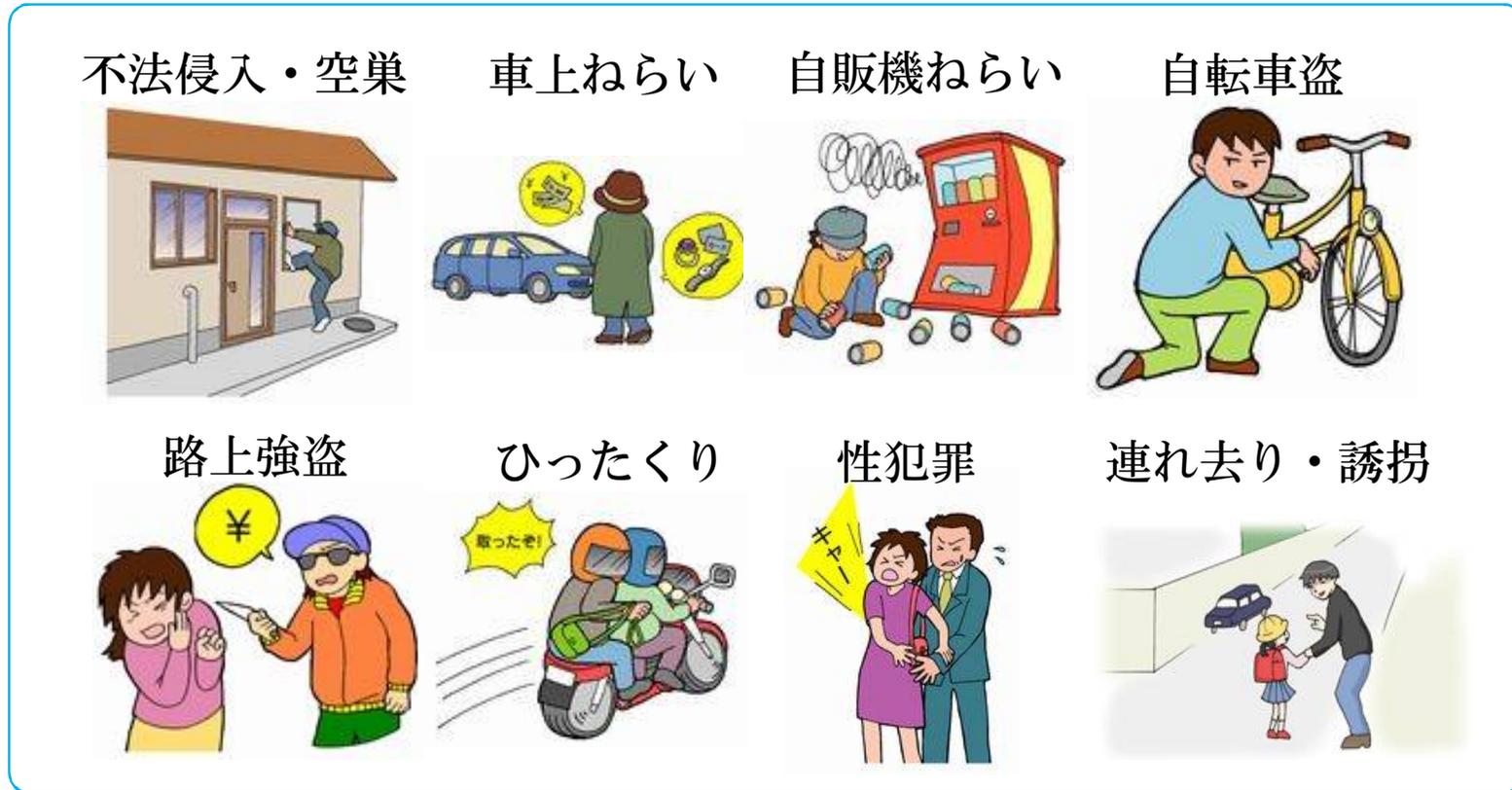
3

防犯チラシ配り

4

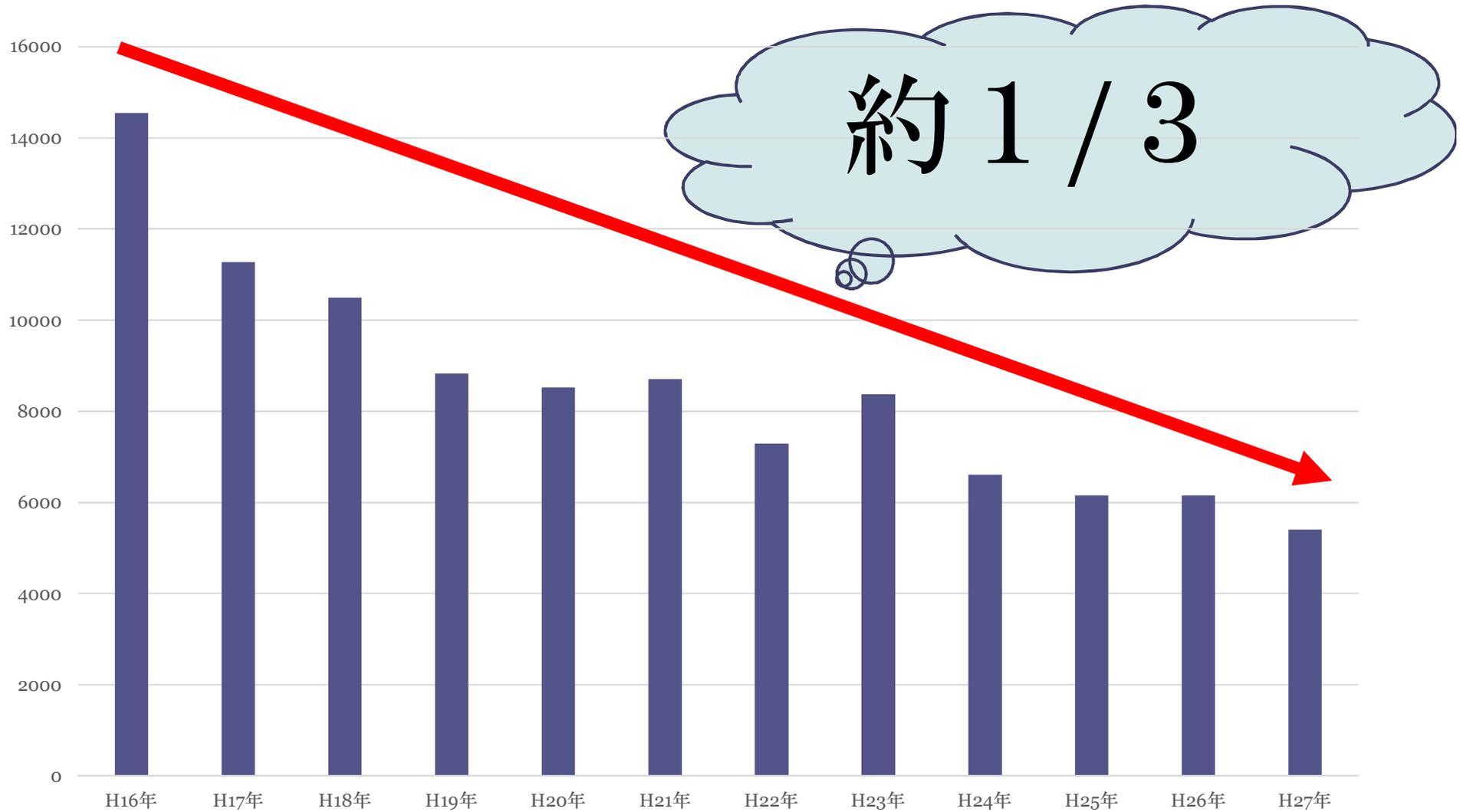
防犯パトロール

- 街頭犯罪の種類
 - • • 身の回りで発生しうる犯罪の総称



上記の様な犯罪を対象に
防犯教育を展開しています

街頭犯罪 認知件数（北九州市）



出典：福岡県警察

- 犯罪原因論の実践

➡ 人に注目した防犯へ

ex.) 「不審者に気を付けて！」

「知らない人にはついて行かない！」

見た目では不審者は、見分けられない



- 犯罪機会論の実践

➡ 領域性と監視性の確保へ

こんな場所に
気を付ける！

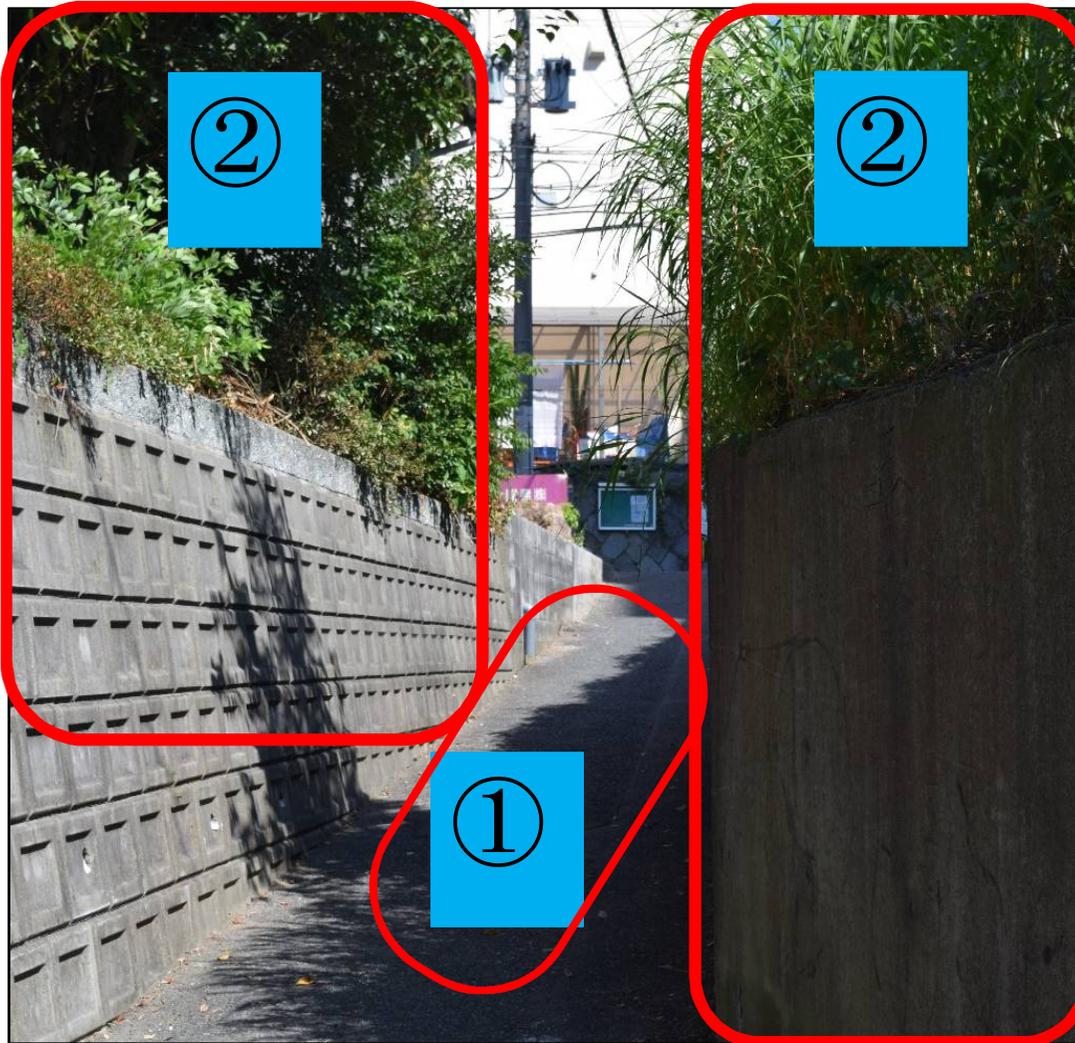
犯罪者にと
って

- 入りやすい
- 逃げやすい

周りの人
にとって

- 見えにくい
- 視線が
届きにくい

- 具体的に景色を解読すると・・・



①通り抜けしやすく
「入りやすい」

②周りが塀や
草木に囲まれ
「見えにくい」

よって①、②より
キケンな場所

- 犯罪に**そもそも**巻き込まれないという視点に！

- 犯罪に巻き込まれない
チカラを身に付ける
→ 地域安全マップづくり

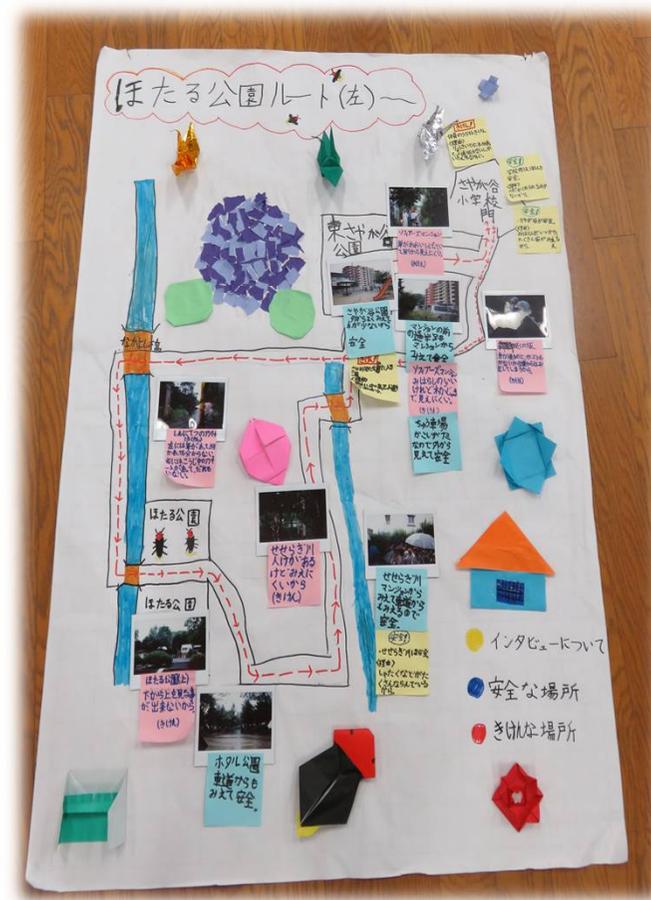
リスク・マネジメント

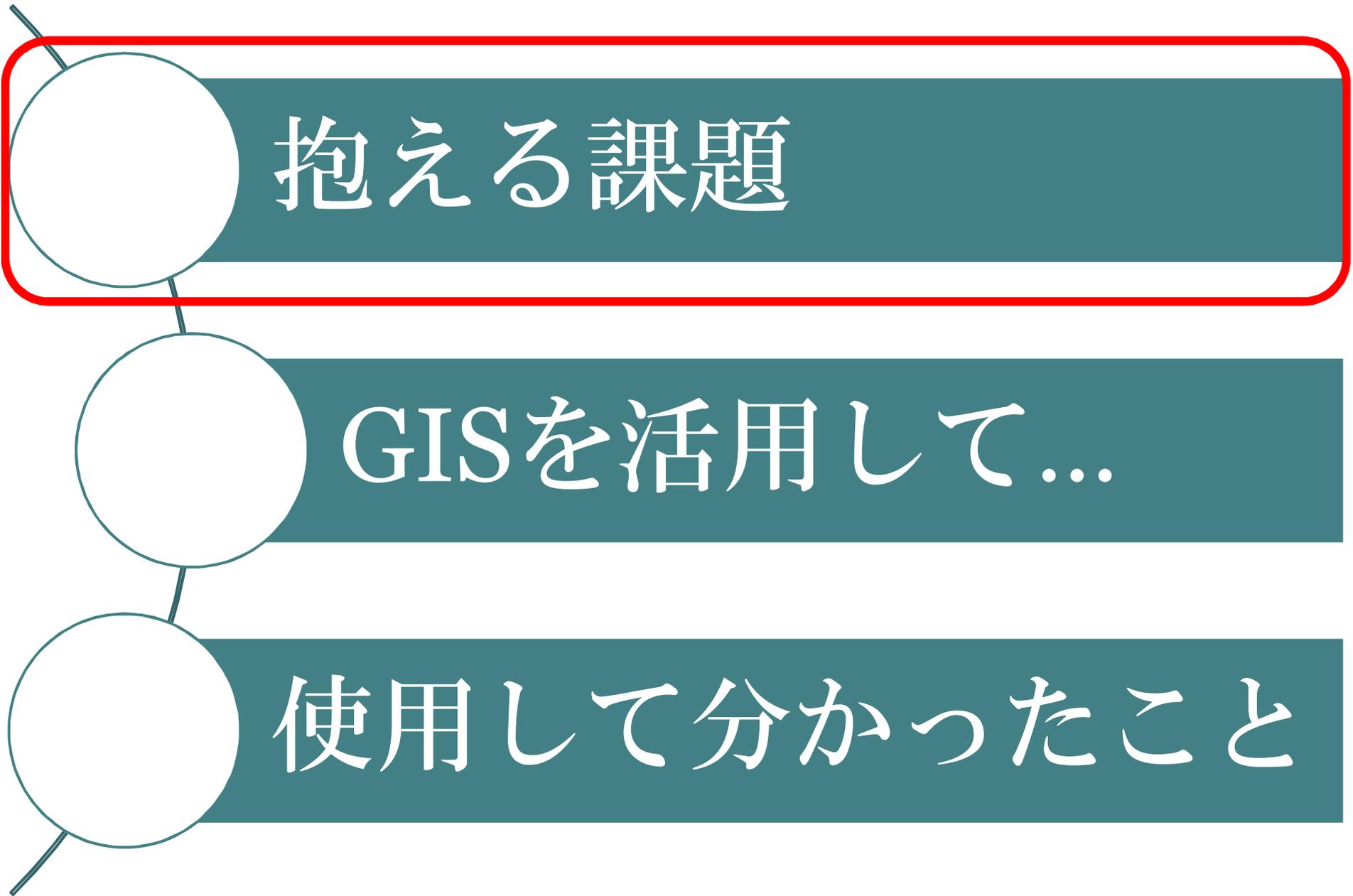
犯罪に

クライシス・マネジメント

巻き込まれたら・・・

- 小学生を対象とした**防犯教育**
- **場所**に注目し、景色解読力を身に付ける



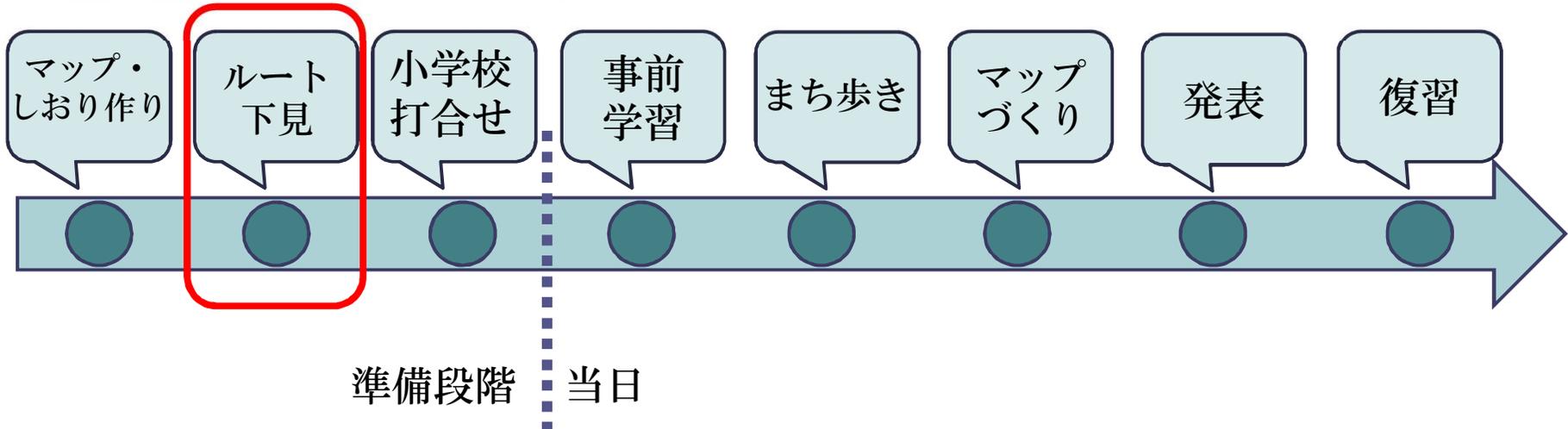


抱える課題

GISを活用して...

使用して分かったこと

- ・ **場所に関する情報**が活動に際し重要！



- 学生がフィールドワークを通して場所に関する情報を記録しています





地図に書き込んだ
情報が読みにくい...

紙だと情報が
書きにくい...



- 講師役として場所の情報を**把握する**必要

実施前の下見

- 活動をする全員が
下見に参加をする必要
- 一定数、参加できない人がいる

ミーティング

- 一度に多くの人に共有可能
- 位置情報を正確に伝えることが困難
- 情報の定着度が低い

“下見” + ○○ + “ミーティング”



- 過去に行った防犯フィールドワークで得た情報の蓄積が「紙地図」では難しい...



同一エリアでの下見

- ルート情報の共有
- チェックポイントの引継ぎ



実施学校ごとの情報

- 過去に実施をしたエリアの情報
- ルート/チェックポイントの記録

課題

2016. 11. 22 (tue)

①場所の記録



②情報の共有



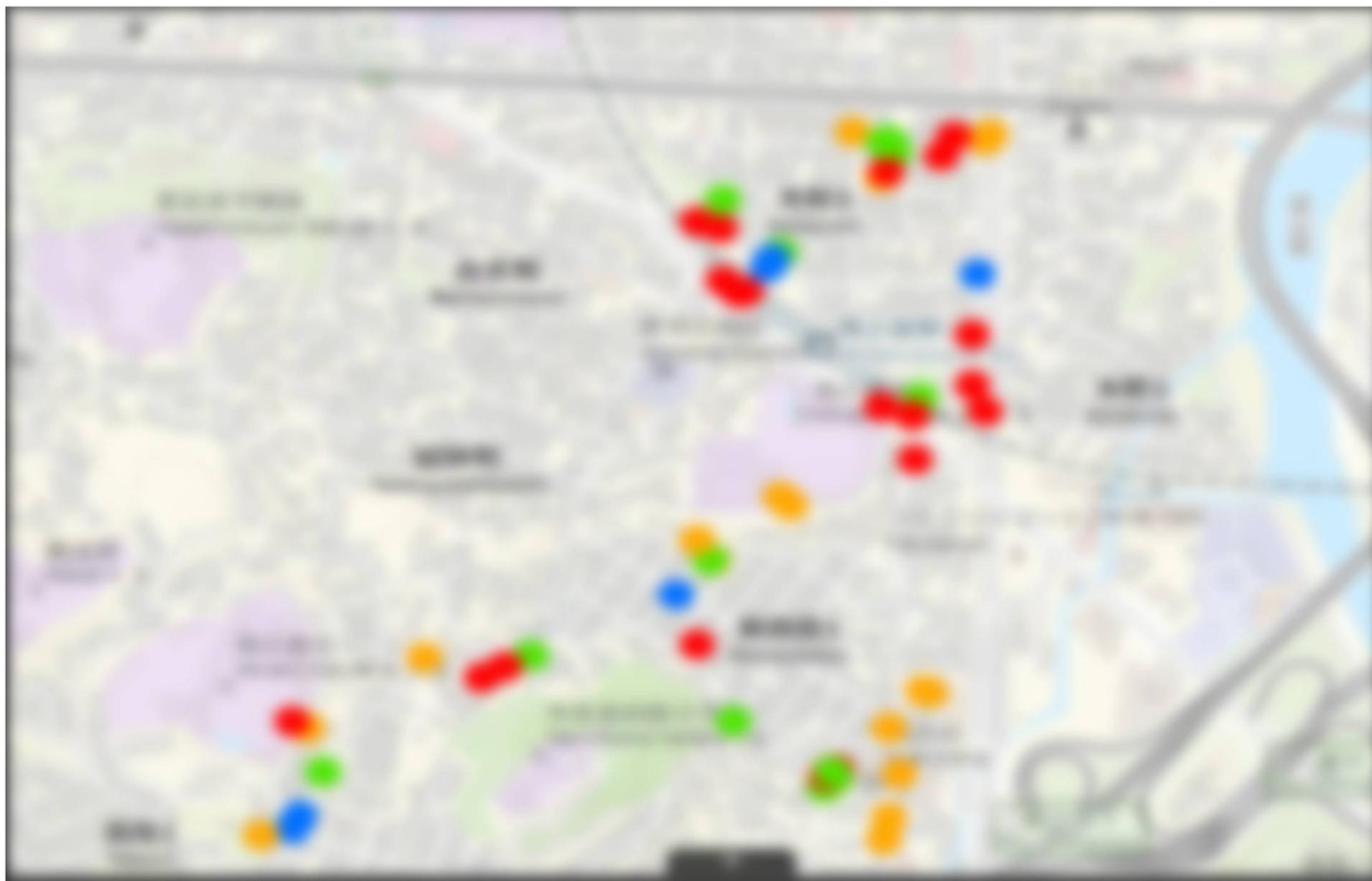
③情報の蓄積



抱える課題

GISを活用して...

使用して分かったこと





紙地図は必要なくなるのでは？

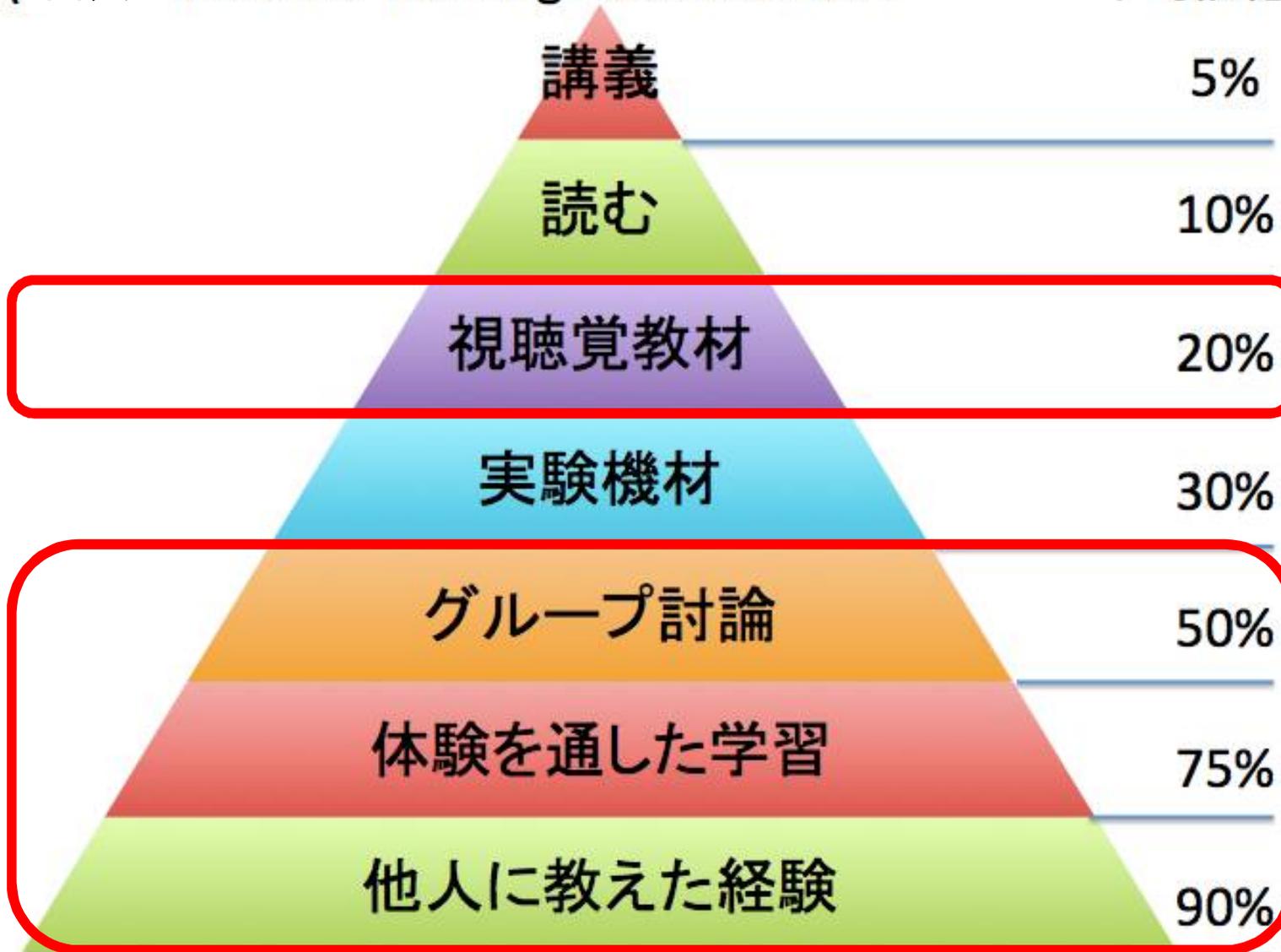
- GISをフィールドワークの支援ツールとして



Learning Pyramid

(出典 : National Training Laboratories)

平均記憶率

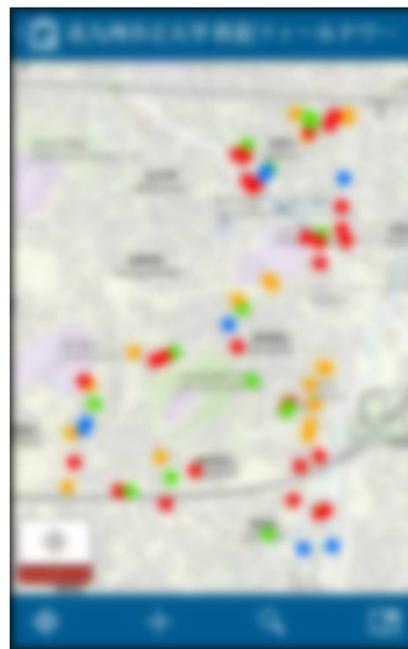


課題

2016. 11. 22 (tue)

①場所の記録

- 視覚的に改善
- 情報の引出しが容易



②情報の共有

- 下見のサポート
ツールとして



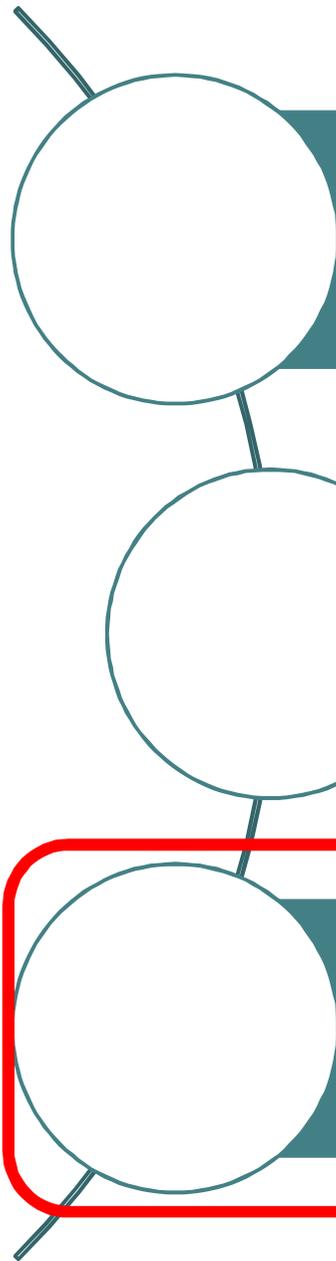
③情報の蓄積

- 同一マップ上に集約



GISで一気に
解決へ！！



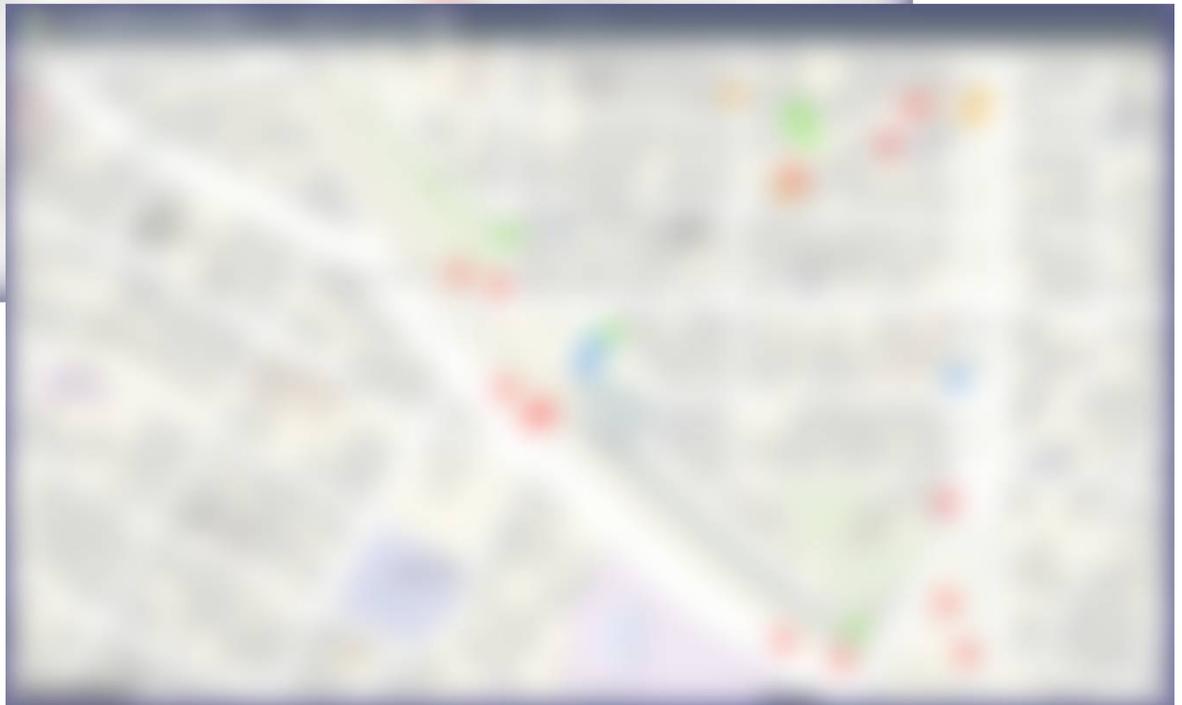
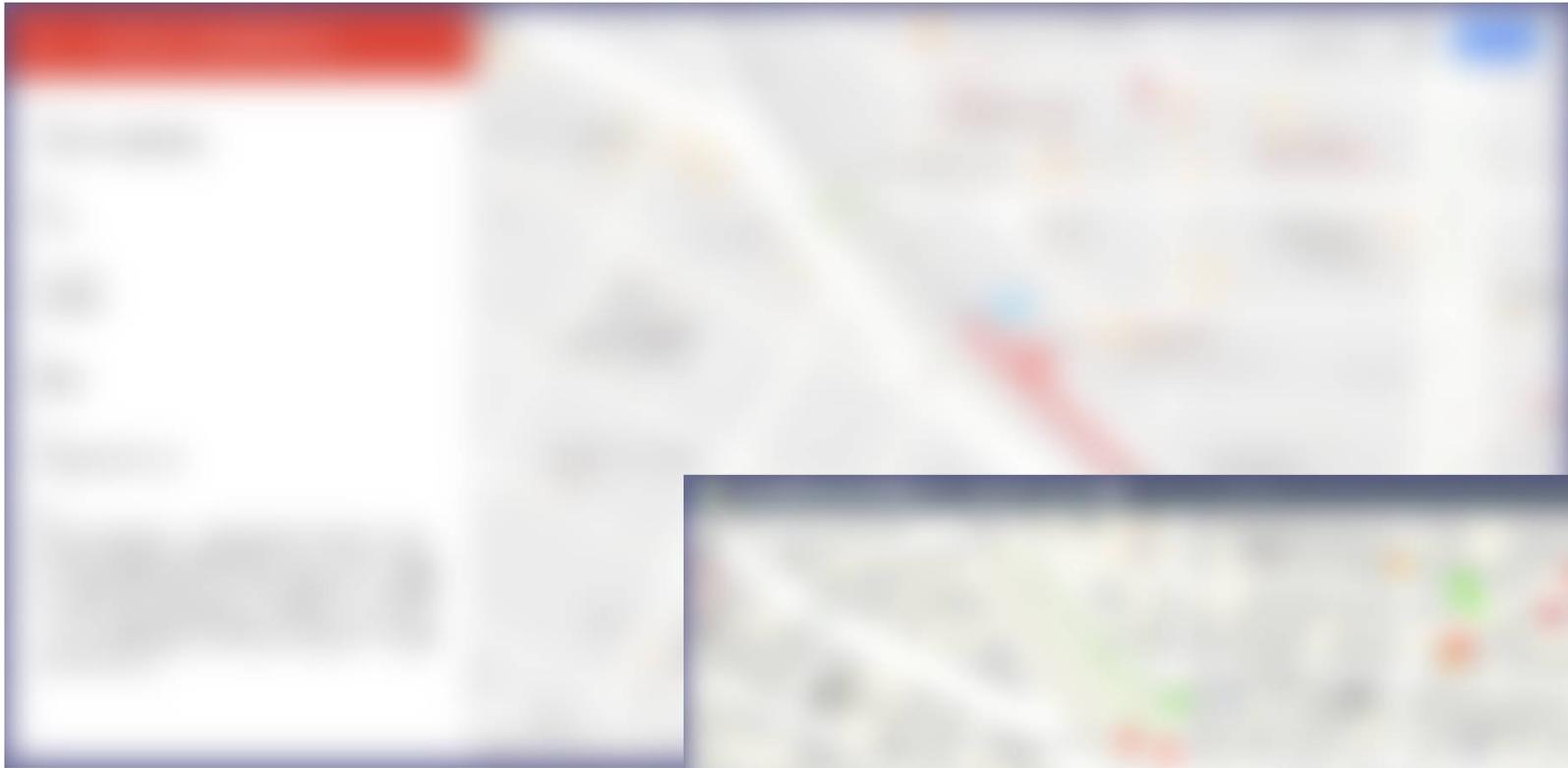


抱える課題

GISを活用して...

使用して気づいた事

- 実際の事件発生場所との比較が容易に！



↑
ふっけい安心メール（福岡県警）

防犯フィールドワークGIS
(MATE's) →

今後の課題



- 内部でのGIS定着
- 情報のアウトプットを！

私達の展望



- 学生間の認知度UPへ
- 防犯のみならず防災も！

皆さま

本日は遠いところ、お越し頂きありがとうございました。
私達【MATE's】は「場所に注目した防犯」という視点から
GIS活用例をご紹介させていただきました。

活用当初は“記録ツール”という認識だった私ですが、
“コミュニケーション・ツール”という側面も感じていま
す。

まだ、私達は使用期間こそ短いですが、
これからの活動で可能性を見つけていきたいと思えます。

北九州市立大学防犯・防災PJ 近藤涼太

